

平成30年度大規模地震時医療活動訓練徳島県訓練 小児周産期リエゾン連携訓練参加報告

1 訓練参加目的

今年度、本県において、「南海トラフ地震における応急対策活動に関する計画（平成29年6月改定）等に基づく大規模地震時災害医療活動に関する総合的な実働訓練が実施されるにあたり、「小児周産期リエゾン」及び県周産期医療協議会・災害対策部会員についても訓練に参加し、平成30年3月に策定した「徳島県周産期災害対策マニュアル」運用についての検証を行うとともに、小児周産期リエゾン等の災害時対応能力の向上等を図る。

2 平成30年度大規模地震時医療活動訓練徳島県訓練の概要について

(1) 目的

南海トラフの地震を想定し、「南海トラフ地震における応急対策活動に関する計画（平成29年6月改定）等に基づく大規模地震時災害医療活動に関する総合的な実働訓練を実施して、当該活動に係る組織体制の機能と実効性に関する検証を行うとともに、防災関係機関相互の円滑化を図る。

(2) 訓練内容

- ・各本部設置運営訓練 ・SCU設置運営訓練、医療搬送訓練
- ・DMAT参集拠点及び活動拠点設置・運営訓練 ・ロジスティクス訓練
- ・各医療関係と連携した訓練（小児・周産期医療、DPAT先遣隊、在宅酸素など）

(3) 訓練日時

平成30年8月4日（土）

(4) 訓練場所

徳島県内全域（香川県、高知県、大分県、宮崎県が被災地として訓練実施）

※ 愛媛県は訓練参加を取りやめ

3 小児周産期リエゾン連携訓練までの事前準備

訓練の方向性、内容等を検討するために、周産期医療協議会・災害対策部会委員を中心に事前打ち合わせ会議を実施。

○第1回事前打ち合わせ会議

- ・開催日：平成30年7月2日（月）
- ・参加者数：14名
- ・内容：訓練の概要について説明（県立三好病院救急科三村先生より説明）
訓練の方向性について検討

○第2回事前打ち合わせ会議

- ・開催日：平成30年7月20日（金）
- ・参加者数：13名
- ・内容：訓練内容及び訓練当日の役割分担について確認、物品の確認
被災想定、搬送事例の検討等

【打ち合わせ会議での決定事項】

○訓練参加内容

本部及びネットワーク本部の立ち上げ訓練、ライン等活用した情報伝達訓練（本部とネットワーク本部との連携確認）、搬送訓練（県内、県外搬送を想定した事例）、クロナロ等を実施

○訓練までの事前準備

「日本産科婦人科学会災害情報システム」に被災情報入力

※分娩取扱病院（災害拠点・支援病院、診療所等17カ所）に対し、事前に訓練参加について依頼。